スキルシート

フリガナ		性別	配偶者	生年月日(年齢)	稼働開始可能日	言語能力	会話 日常	会話 業務	作業理解	仕様解読	仕様作成	A 上級
名 前	IC	女	無	26								B 中級
住所	東京都世田谷区					日本語						C 初級
最寄り駅	東急田園都市線 桜新町駅			来日		英 語	C	C	C	C	C	D 入門

最終学歴	学校名	専攻学科	学位
	東京工科大学	メディア学部_メディアコンテンツコース	4年制

職歴	期間	会社名	部門・担当

言語総合能力				資格	情報処理技能検定試験_第3級
					文章デザイン検定試験_第2級

技術経験

●:実務経験1年以上/◎:実務経験有り/○:知識有り

OS	Win95/98		WinCE		Win2000		WinNT4.0		WinServer	◎	WinXP	
	X-Windows		IOS	◎	Linux	◎			Winvista		Solaris	
	Aix		Win7		Win8		Win10	●	Win11	●	Linux	◎
言語等	C		C#		C++/VC++		Java	◎	JavaScript	◎	JavaServlet	○
	Jsp		Notes		Struts		Eclipse	○	.Net	◎	Delphi	
	VB.NET	◎	VBScript	○	HTML	○	XML	○	UML		Asp	
	PHP	○	Perl		PL/SQL	◎	Cobol		Shell		Fortran	
	その他		Python		VBA	◎	Ruby	○	Xcode	○	swift	○
	Ajax		Cisco IOS	◎								
DB等	Oracle	◎	SqlServer	○	DB2		Sybase		Informix		MySql	○
	Access		Apache	○	Lotus Notes		WebSphere		WebLogic		Tomcat	○
	その他		PL/SQL	●	SQL*Plus	◎	PosgreSQL	●				

得意分野

言 語: SQL*Plas、PostgreSQL、Linux。

業 務:

【開発】
●SQL*PlusとPostgreSQLでそれぞれ使用することが出来るSQLのコードを、EXCELで生成する、データ検証用SQL作成ツールを開発。
●金融系のビッグデータ(構造化データ)を、Oracle版Object BrowserとSQL*Plusで抽出。SQLで抽出したデータを、EXCELとVBAでグラフ化する、実績データの分析ツールを開発。
【構築】
●iDRAC9でサーバを遠隔に操作して、Dell製サーバにAlma Linuxをインストールすることで、自動化用サーバを構築。
●iLOでサーバを遠隔に操作して、Linaxのコマンド入力を行い、HPE製サーバのクリアインストールを実施。
●iLOでサーバを遠隔に操作して、Linaxのコマンド入力を行い、HPE製サーバの交換パッケージ(交換 PKG)を構成。
●BIOSとWindowsのコマンドプロンプトを使用して、クライアント様の端末をセットアップ。
●BAM(Banking Analyze Master)の更改のため、BAMとHinemos Clientを操作して、現行環境と次期環境の比較検証試験を実施。行った試験は、疎通試験・IFAP試験・運用試験・性能試験・画面結合試験。
【運用】
●iLOでサーバを遠隔に操作して、Linaxのコマンド入力を行い、HPE製サーバの環境状態をフルバックアップ。
●金融系のデータベース(DB)の容量を、Windowsのコマンドプロンプト・SQL*Plus・Tera Term・Object Browserを使用して、逼迫していないか調査を行う。
●Windows ServerのActive Directoryを使用して、クライアントのアカウント、及び、フォルダ権限のトラブルを解消。
●AWS Management Consoleを操作して、AWSで構築された、クライアント様の仮想端末(EC2インスタンス)を起動。
●IT資産管理を行いつつ、電話で問い合わせがあった、内部クライアント端末に、Windowsのアップグレード用メディアの貸出を行うことで、ヘルプデスクを実施。
【保守】
●Cisco製L2スイッチをTera Termに接続し、CiscoのIOSイメージを使用して、Cisco IOSのアップグレード・ダウングレードを実施。
●故障したHPE製サーバと、予備機のHPE製サーバを交換し、設置した予備機をiLOで初期設定を実施。
●物理インフラ管理のために、後継機のケーブルラベルを更新。自機と対向機を識別するために、ラベルの色分けを実施。
●クライアント様の業務用端末を設置し、旧端末の撤去を実施。
●BAM(Banking Analyze Master)の更改で実施した、現行環境と次期環境の比較検証試験に使う、テストドキュメントの、試験項目表・試験消化表・試験評価表・不具合報告書・結合試験証跡を、作成・更新。
●廃棄するCisco製L2スイッチを、COM-Tera Term VTに接続し、Cisco IOSで初期化を行うことで、ネットワークから撤去する。
【事務管理】
●物理インフラ管理のために、機材故障時の一覧表や資料の更新を実施。
●Dell製サーバにAlma Linuxをインストールするための、手順書を作成。手順書を作製するために、Dell製リモート管理ファームウェアのiDRAC9の操作方法、Alma Linuxをセットアップする方法、オフライン環境でAnsibleをインストールする方法を、調査した。
●IT資産管理のために行う購買対応で、セキュリティソフトやライセンスの見積依頼・購買手続き、システム更改に伴うセキュリティソフトやライセンス契約期間の調整を実施。
●手順書を、テキスト形式(.txt)から、図形や画像を含む視覚的な形式(.xlsx)に改訂することで、業務を改善した。
●クライアント様に向けて、システムのステータスレポートを作成・送付・保管・管理することで、信頼の構築と透明性の確保をした。作成したステータスレポートは、リモート作業申請書・作業報告書・障害一覧・借用ID一覧。

職務経歴

PL:ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄﾘｰﾀﾞｰ /TL:ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰ /BSE:ブリッジSE /SE: SE /PG:ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾏｰ ●:経験有り

No	開発時期	期間・月	開発人数	開発システム名・開発場所	OS	言語/工具/DB	役割	要件定義	基本設計	機能設計	詳細設計	製造	単体テスト	結合テスト	総合テスト	運用・保守
1	2025年5月 ～ 2025年7月	3	20	★CCM(Customer Centric processing Management system)の開発に使用される、SQLの実行計画の評価及びテーブル定義書のメンテナンス作業/設計・テスト・運用保守 ★CCMはソフトバンクを含む他社の戦略事業基盤 ★使用している物理Data StoreはPostgre SQL ・【テーブル定義書申請】【SQL申請】はどちらも、「申請内容の処理(受理/検証/承認)」から、設計・テスト・運用保守が一体になる業務。 ・【SQL性能改善対応】は、既存システムのJavaファイルに含まれるSQLの性能を分析・改善案の提案を行う業務。 ●テーブル定義申請 ◆依頼内容/テーブル定義書の確認 ・新規テーブルの場合、類似する既存テーブルが無いか確認。 ・既存テーブル更新の場合、更新箇所以外の変更が無いか確認。 ・テーブル、カラムの「物理テーブル名(SQL上の名称)」「論理名(書類に使用する名称)」が、機能を含めて適切か確認。 ・インデックスで、「インデックス名」が適切か、「カラムリスト」にカラム名の誤字脱字がないか、効率的なインデックスになるか確認。 ・「制約情報」で、インデックスの情報や、Not Nullのカラムの情報が記載されているか確認。 ◆開発ブランチの作成 ・Git Labで開発ブランチを作成。 ◆mdファイル、SQLの作成 ・改行でmdファイルのレイアウトが乱れる場合『 』に変換してレイアウトを整える。 ・テーブル定義書を基にしたテーブルを構築するSQLを作成 ◆開発ブランチに更新された情報をコミット	Win11	【Office】 Excel 【Google Workspace】 Chat Meet Gmail Googleドライブ スプレッドシート 【Git】 Git Lab Tortoise Git mdファイル WinMerge 【SQL】 Postgre SQL A5:SQL Mk-2(A5M2) csvファイル サクラエディタ TeraTerm Win SCP Java JPQL(Java Persistence Query Language)	SE	●	●	●	●	●	●	●	●	●
1	2025年5月 ～ 2025年7月	3	20	★CCM(Customer Centric processing Management system)の開発に使用される、SQLの実行計画の評価及びテーブル定義書のメンテナンス作業/設計・テスト・運用保守 ★CCMはソフトバンクを含む他社の戦略事業基盤 ★使用している物理Data StoreはPostgre SQL ・【テーブル定義書申請】【SQL申請】はどちらも、「申請内容の処理(受理/検証/承認)」から、設計・テスト・運用保守が一体になる業務。 ・【SQL性能改善対応】は、既存システムのJavaファイルに含まれるSQLの性能を分析・改善案の提案を行う業務。 ●SQL申請 ◆SQLクエリの検証 ・申請されたSQLクエリが実行できるか、実行時間が適切か確認する。 ・JPQL(Java Persistence Query Language)で記述されているコードをSQL文(PostgreSQL)に変換する。 ◆実行計画に使用する試験データの挿入 ・SQLの実行計画を行うための、試験用データ挿入。 ・100万件までなら、試験用データを生成するSQLクエリを実行する ・100万件よりも膨大なデータの場合、csv形式のレコードファイルを使用した試験用データの挿入を行う。 ◆実行計画の分析。	Win11 Linux	【Office】 Excel 【Google Workspace】 Chat Meet Gmail Googleドライブ スプレッドシート 【Git】 Git Lab Tortoise Git mdファイル WinMerge 【SQL】 Postgre SQL A5:SQL Mk-2(A5M2) csvファイル サクラエディタ TeraTerm Win SCP Java JPQL(Java Persistence Query Language)	SE	●	●	●	●	●	●	●	●	●

1	2025年5月 ～ 2025年7月	3	20	★CCM(Customer Centric processing Management system)の開発に使用される、SQLの実行計画の評価及びテーブル定義書のメンテナンス作業/設計・テスト・運用保守 ★CCMはソフトバンクを含む他社の戦略事業基盤 ★使用している物理Data StoreはPostgre SQL ・【テーブル定義書申請】【SQL申請】はどちらも、「申請内容の処理(受理/検証/承認)」から、設計・テスト・運用保守が一体になる業務。 ・【SQL性能改善対応】は、既存システムのJavaファイルに含まれるSQLの性能を分析・改善案の提案を行う業務。 ●SQL性能改善対応 ◆JavaファイルからSQLの部分を抽出 ・JPQL(Java Persistence Query Language)で記述されているコードをSQL文(PostgreSQL)に変換する。 ◆抽出した改善前のSQLの性能を調査 ・試験用環境に、対象のSQLに記述されているテーブルに、データがない場合は、試験用データの作成と挿入を行う。 ◆改善案としてSQLチューニングを実施 ・「INNER JOIN」にしても性能面で問題ない「LEFT JOIN」を「INNER JOIN」に変換 ◆改善前(Javaファイルから抽出したSQLクエリ)と改善後(SQLチューニング済みのSQLクエリ)の性能を比較	Win11 Linux	【Office】 Excel 【Google Workspace】 Chat Meet Gmail Googleドライブ スプレッドシート 【Git】 Git Lab Tortoise Git mdファイル WinMerge 【SQL】 Postgre SQL A5:SQL Mk-2(A5M2) csvファイル サクラエディタ TeraTerm Win SCP Java JPQL(Java Persistence Query Language)	SE	●	●	●	●	●	●	●	●	●
2	2025年1月 ～ 2025年3月	3	20	★通信事業者向けインフラ環境構築/運用業務 ★通信基盤の運用保守業務　Linuxサーバの運用保守 ★iLO、iDRAC9　サーバのリモート管理ファームウェアを使い、遠隔で物理サーバの監視/操作を行う ★物理サーバに構築されたLinuxでシステムを操作する ●詳細設計：新規サーバを構築するための手順書を作成。 新規のサーバ環境を構築するための、調査と手順書を作成。 ◆Dell 製サーバのiDRAC9の操作方法。 ・Alma Linuxを、構築する手順。 ・セットアップ後の仮想環境から、ホスト名とネットワーク設定を行う方法。 ・オフライン環境で Ansible をインストールする方法を調査。 ・調査結果を整頓し、手順書として文章化。 ・実際に構築するとき、手順書通りに進まなかった部分を修正。 ●製造：交換PKG化、クリアインストール、サーバ構築 ◆交換パッケージ(交換PKG)の構成 ・交換用パッケージ用のバックアップを、使用してリストアを実施。 ◆クリアインストール ・ホストリストア。 ・サーバのHWの設定、ホストIPの設定。 ・SHOM局可変情報変更、OVS設定。 ・VM 内セットアップ。 ・鍵情報の登録/バックアップ。 ・制御VMプラグ投入。 ・仮想サーバ(VM)の再構築 ・トラフィック集計ツールを導入。	Win11 Linux Cicso	【Office】 Word Excel PowerPoint 【SSC/ISC・UNI-SBC運用保守】 [言語] Alma Linux Linuxコマンド Shell Shell script Cisco IOS [ツール] iLO iDRAC9 TeraTerm Win SCP サクラエディタ WinMerge Wireshark 【情報共有ツール】 Outlook Teams 【その他】 サーバの配線工事 物理インフラ管理 IT資産管理	SE		●	●	●	●	●	●	●	●

2	2025年1月 ～ 2025年3月	3	17	★通信事業者向けインフラ環境構築/運用業務 ●製造：交換PKG化、クリアインストール、サーバ構築 ◆自動化用サーバを構築(Linuxサーバ) ・Dell 製サーバの iDRAC9 にネットワークの設定を構成。 ・iDRAC9 から仮想メディア(Aima Linux の iso ファイル)を使用。 ・Alma Linux のインストール画面から、各種の設定を実施。 ・インストールした Alma Linux のターミナルから、ネットワークの設定を実施。「nmcli」コマンドで、インターフェースに払い出された IP アドレスを説明する。 ・ターミナルから、ホスト名変更、SSH 変更、SELinux の設定を実施。「hostnamectl set-hostname <ホスト名>」でホスト名を変更。「vi」コマンドで、ssh と SELinux の設定をそれぞれ行う。 ・オフライン環境で、Alma Linux のターミナルから、Ansible のインストールを実施。Alma Linux のインストールに使用した iso ファイルを、サーバのローカルに保存する。 ・保存してファイルを「vi」コマンドで、ローカルリポジトリの設定をする。「dnf clean all」でリポジトリキャッシュを更新する。「dnf repolist」でリポジトリの確認をする。「dnf install ansible*」でパッケージ(Ansible)を、インストールする。 ●テスト：1Call(構築したサーバ間を繋ぐ電話の疎通試験)、付帯。	Win11 Linux Cicso	【Office】 Word Excel PowerPoint 【SSC/ISC・UNI-SBC運用保守】 [言語] Alma Linux Linuxコマンド Shell Shell script Cisco IOS [ツール] iLO iDRAC9 TeraTerm Win SCP サクラエディタ WinMerge Wireshark 【情報共有ツール】 Outlook Teams 【その他】 サーバの配線工事 物理インフラ管理 IT資産管理	SE		●	●	●	●	●	●	●	●
2	2025年1月 ～ 2025年3月	3	17	★通信事業者向けインフラ環境構築/運用業務 ●運用/保守：バックアップ、リストア、LAFファイル(バックアップファイル)の退避/再開、版数(サーバのバージョン)更新、APL局建/増設/減設、法定停電対応、アップグレード/ダウングレード。 ◆サーバの環境状態をフルバックアップ(Linuxサーバ、Shell、Shell script) 「for d in /IPS_* ; do echo "---- `date` ----" ; find $S >> $ARC_LIST ; done」 ・追記モード「>>」で、過去のバックアップ情報を保持したまま、新しいデータをファイルに追加する。 ・「date」コマンドで、バックアップを行った日時を出力する。 ・「for」コマンドからループ処理で、自動的にバックアップを取得する。 ◆サーバの環境状態をフルバックアップ(Linux、Shell、Shell script) ・「cp」でファイルのコピー。 ・「tar」でアーカイブを作成。 ・「gzip」で対象のファイルを圧縮 ・「date」で現在の日付、時刻を取得。 ・上記Shellコマンド等を組み合わせたバックアップ処理をShell scriptとして実装。 ・実装したShell scriptを「cron」で定期実行し、バッチ処理の自動化を実現。	Win11 Linux Cicso	【Office】 Word Excel PowerPoint 【SSC/ISC・UNI-SBC運用保守】 [言語] Alma Linux Linuxコマンド Shell Shell script Cisco IOS [ツール] iLO iDRAC9 TeraTerm Win SCP サクラエディタ WinMerge Wireshark 【情報共有ツール】 Outlook Teams 【その他】 サーバの配線工事 物理インフラ管理 IT資産管理	SE		●	●	●	●	●	●	●	●

2	2025年1月 ～ 2025年3月	3	17	★通信事業者向けインフラ環境構築/運用業務 ●運用/保守：バックアップ、リストア、LAFファイル(バックアップファイル)の退避/再開、版数(サーバのバージョン)更新、APL局建/増設/減設、法定停電対応、アップグレード/ダウングレード。 ◆Ciscoサーバのアップグレード・ダウングレード(Cisco IOS) ・IOS イメージを使用して、アップグレード・ダウングレードを行う。 ・「show version」「show running-config」で、現行の IOS バージョンと設定内容を確認する。 ・「scp」コマンドで設定をバックアップし、外部サーバに保存する。 ・「scp」コマンドで IOS イメージを Cisco のスイッチへ転送する。 ・「dir flash:*.bin」で、転送された IOS イメージを確認する。 ・「Install add file flash:」で、IOS イメージのインストールを行う。 ・「reload」で Cisco のスイッチを再起動し、「show version」で IOS バージョンが変更されたことを確認する。 ・「write memory」で設定を保存し、「exit」で Cisco のスイッチからログアウトする。	Win11 Linux Cicso	【Office】 Word Excel PowerPoint 【SSC/ISC・UNI-SBC運用保守】 [言語] Alma Linux Linuxコマンド Shell Shell script Cisco IOS [ツール] iLO iDRAC9 TeraTerm Win SCP サクラエディタ WinMerge Wireshark 【情報共有ツール】 Outlook Teams 【その他】 サーバの配線工事 物理インフラ管理 IT資産管理	SE		●	●	●	●	●	●	●	●
3	2024年10月 ～ 2024年12月	3	25	★クライアント様の端末をセットアップ(市役所・財務省・水道局) ●製造：PCのセットアップ（BIOS、コマンドプロンプト/Windows） ◆BIOS ・ディスクイメージのクローニングを行う ・起動時に「F2キー」を押し、BIOSを起動 ・「Security」タブでBIOSのパスワードを設定 ・「Exit」タブからディスクイメージが保存された外付けSSDを起動 ◆コマンドプロンプト/Windows ・ファイル名を指定して実行(Windows + R)し、「cmd」から管理者権限でコマンドプロンプトを使用する ・各セキュリティが有効化しているか確認 ・「sc query sense」のSTATE欄でMDEを確認 ・「sc query windefend」のSTATE欄でDefenderを確認 ・「manage-dbe -statue C:」でBitLockerの暗号化を確認 ・「ローカルユーザー、グループ」の設定から、パスワードを変更 ・「ディスクの管理」からドライブの拡張子を変更 ●テスト：クライアント端末の設置 ◆クライアントの要件に基づき配線を最適化 ・既存のネットワークと電源配線に対応して、端末を交換 ・現場に赴いてクライアント端末の設置、及び旧端末の撤去 ◆設置したクライアント端末が本番環境で動作するか確認 ・Officeの導入ライセンスを確認 ●その他 ・資材や備品の確認、管理 ・納品端末のピッキング	Win11	コマンドプロンプト BIOS Office	SE					●	●	●	●	●

4	2023年2月 ～ 2024年9月	18	20	★金融系の運用保守業務 ★銀行は信託・有価証券の両方 ★Banking Analyze Master(BAM)：金融に特化したBIツール、Oracleを含むソフトウェア ★PL/SQL：金融情報に関するビッグデータ(構造化データ)の取り扱い ●要件定義：ステータスレポートの作成/提出。 ◆ステータスレポートの作成/提出 ・システムのステータスレポートを作成・送付・保管・管理 ・作成したステータスレポートは、リモート作業申請書、作業報告書、障害一覧、借用ID一覧。 ●詳細設計：テストドキュメントの作成 ◆BAMの更改に使用するテストドキュメントを作成 ・現行環境と次期環境の比較検証試験に使う ・試験項目表、試験消化表、試験評価表、不具合報告書、結合試験証跡 ●製造：データ検証用SQL作成ツールの開発、実績データの分析ツールを開発、クライアント様の端末のセットアップ ◆データ検証用SQL作成ツールの開発 (SQL*Plus/PostgreSQL) ・異なるデータベース管理システム(DBMS)の特性や、SQL文法の違いを考慮して、SQL文を作成。 ・Oracle(SQL*Plus)の場合、「tablr_name」でテーブル名を抽出。 ・PostgreSQL の場合、「UPPER(tablr_name)」でテーブル名を抽出。 ・Excel の「CONCAT」関数を活用して、SQL 文を自動で作成。	Win10 Win11	【Office】 Word Excel (VBAも使用) 【BAM】 Oracle VBA SQL*Plus PosgreSQL (PL/SQL) 【情報共有ツール】 LINE Outlook Teams 【仮想環境】 Biz Xaas Offics (BXO) 【その他】 TeraTerm Win SCP ObjectBrowser HinemosClient サクラエディタ WinMerge IT資産管理	SE	●	●	●	●	●	●	●	●	●
4	2023年2月 ～ 2024年9月	18	20	★金融系の運用保守業務 ●製造：データ検証用SQL作成ツールの開発、実績データの分析ツールを開発、クライアント様の端末のセットアップ ◆実績データの分析ツールを開発 ・VBAエディタの「ADO(Microsoft ActiveXData Objects)ライブラリ」を設定 ・文章型(String)で指定した変数で、データベースのパスを指定 ・SQLクエリを使用して、データを取得 ・「chartRange」で、取得したデータが出力されたセルを、範囲で指定。 ・「ChartObjects.Add」メソッドでグラフオブジェクトを追加。 ・グラフオブジェクトを「With」ブロックで指定し、グラフを加工。 ・「Call」コマンドで作成したVBAをまとめる。 ・シートに図形を挿入して、ボタンそのものを作成する。 ・挿入した図形に「マクロの登録」を選択し、「Call」コマンドでまとめたVBAを登録。 ◆クライアント様の端末のセットアップ ・端末ドメインの参加 ・リモートデスクトップ接続設定 ・ネットワーク資格情報を入力 ●テスト：クライアント様の端末の動作確認、BAMの更改 ◆クライアント様の端末の動作確認 ・Pingの疎通試験 ・端末ドメインポリシーの確認 ・セキュリティ証明書を受け入れて、リモートデスクトップ接続。	Win10 Win11	【Office】 Word Excel (VBAも使用) 【BAM】 Oracle VBA SQL*Plus PosgreSQL (PL/SQL) 【情報共有ツール】 LINE Outlook Teams 【仮想環境】 Biz Xaas Offics (BXO) 【その他】 TeraTerm Win SCP ObjectBrowser HinemosClient サクラエディタ WinMerge IT資産管理	SE	●	●	●	●	●	●	●	●	●

4	2023年2月 ～ 2024年9月	18	20	★金融系の運用保守業務 ●テスト：クライアント様の端末の動作確認、BAMの更改 ◆BAMの更改 ・現行環境と次期環境の比較検証試験を実施 ・疎通試験（取得したログの比較） ・IFAP試験（マッピングしたデータの比較） ・運用試験（スケジュール通り正常にジョブが動くか確認） ・性能試験（ジョブの起動に時間差が無いか確認） ・画面結合試験（画面遷移、状態遷移を確認） ●運用・保守：ユーザサポート、データベース(DB)の容量調査 ◆ユーザサポート ・Windows ServerのActive Directoryを使用 ・クライアントのアカウント、及び、フォルダ権限のトラブルを解消 ・AWS Management Consoleを操作 ・AWSで構築された、クライアント様の仮想端末(EC2インスタンス)を起動。 ◆データベース(DB)の容量調査(PL/SQL) ・SQL*Plusで複数のSQLクエリを含むSQLスクリプトを実行 ・データベースの操作を一括で行う ・Tera TermでサーバにSSH接続 ・「df」コマンドでディスク使用状況を確認 ・Object Browserで調査結果を、Excelファイルでエクスポート ●その他(事務管理・IT資産管理) ・セキュリティソフトやライセンスの見積依頼、購買手続き。 ・システム公開に伴うセキュリティソフトやライセンス契約期間の調整。 ・業務手順書を更新 ・社員の入退社や移動に伴うアカウント管理、更新、削除	Win10 Win11	【Office】 Word Excel （VBAも使用） 【BAM】 Oracle VBA SQL*Plus PosgreSQL （PL/SQL） 【情報共有ツール】 LINE Outlook Teams 【仮想環境】 Biz Xaas Offics (BXO) 【その他】 TeraTerm Win SCP ObjectBrowser HinemosClient サクラエディタ WinMerge IT資産管理	SE	●	●	●	●	●	●	●	●	●
5	2023年1月	1	5	★IT系企業の事務管理 ◆書類の作成・整頓 ・議事録作成スキル ・会議書類作成、ファイリング ・調整業務支援 ・契約書作成 ・管理 ・マニュアル作成 ・リスト作成 ◆顧客・仕入先への対応 ・電話、メール応対、及び問い合わせ対応 ・来客対応 ・消耗品・備品の在庫管理 ・顧客先・仕入先管理 ・PG,イラストレーター、ライターの常駐の勤怠管理 ・求人募集の対応 （事務連絡、報告に関する進捗管理）	Win10	Word Excel PowerPoint Spine IT資産管理	PG	●	●	●	●	●				●

6	2022年10月 ～ 2022年12月	3	5	★NHKのシステム運用保守 ●運用・保守：CiscoのL2スイッチの初期化、ユーザサポート ◆CiscoのL2スイッチの初期化(Cisco IOS) ・COM-Tera Term VTでL2スイッチに接続し、Cisco IOSで操作する。 ・「enable」で特権モードに移行する。 ・「show running-config」「show flash:」「show startup-config」「show vlan」で、L2スイッチ内の情報を確認する。 ・「write erase」「delete flash:」で、指定した範囲のデータを削除。 ・「reload」で再起動を行い、データの削除を含む設定を、確実削除 ・再び「show」コマンドで、L2 スイッチ内の情報を確認。 ・初期化されていることが分かれば、「exit」でログアウト。 ・合計150台以上の旧L2スイッチを初期化した。 ◆ユーザサポート ・内部クライアント端末の、アップグレード用メディアの貸出対応 ・申請端末の処理(受理/検証/承認) ・資産ラベルの生成と配布	Win10	【情報共有ツール】 Slack IP Messager 【システム管理ツール】 COM - Tera Term VT 【言語】 Cisco IOS	SE									●
7	2022年9月	1	12	★千葉県柏市の新型コロナウイルスに関するコールセンター業務 ◆オペレーター ・Stockを使用した業務連絡の確認 ・Blue Beanを使用した電話対応 ・療養期間や、療養証明書などに関する質問の返答 ◆事務 ・Kintoneで、手書きで書かれた患者様の情報を、入力・更新をする。 ・HER-SYSで、療養期間が解除される患者の体調を確認。問題がなければ通知を解除して「療養解除」の記録を追加する。 ・HER-SYSのデータを元に、療養証明書の代理申請を行う(パソコンに慣れていない患者様向け)。	Win10	【情報共有ツール】 Stock 【通話ツール】 Blue Bean 【情報管理ツール】 Kintone HER-SYS	SE									●
8	2021年4月 ～ 2022年8月	17	10	★IT系企業の事務管理 ◆テストケース作成 ・テスト計画書、外部設計書をインプットとして作成 ◆テスト設計 異常系を含むユーザビリティ観点でのユースケースの動作・遷移確認 ・システムテストの実施＆検証 ◆総合テスト ・操作性や動作に問題がないか動作確認を総合テストする。 ・テスト仕様書と実動作が異なる場合は、技術者向けにキャプチャー画像を取り、不具合管理表に記載。 ◆不具合報告(バグレポート) ・バグレポートを作成し、ログやキャプチャ、動画の撮影を行う。 ◆その他保守業務 ・帳票確認	Win10	【Microsoft office】 Word Excel 【その他】 事務管理	SE	●	●	●	●		●	●	●	●

9	2021年4月 ～ 2022年7月	17	10	★クライアント様の端末をセットアップ(IT系企業・全労済) ●製造：PCのセットアップ、クリーンアップ（Windows Server/Active Directory、Acronis Snap Deploy） ◆Windows Server/Active Directory ・OSのインストール ・モニター、マウス、キーボード、プリンターなどの周辺機器との接続 ・ネットワークのセットアップ ・アンチウィルスソフトのセットアップ ・各種ソフトウェアのインストール ・IPv4アドレス、デフォルトゲートウェイの指定 ・DHCPサーバーの機能を追加 ・Active Directoryを使用したユーザーの情報を登録 ・Windowsサーバの構築経験 ◆Acronis Snap Deploy(Windows/Linuxに対応したシステムイメージング・キッティングツール) ・ディスクイメージが保存された外付けSSDを使いクリーンアップを実施 ・富士通製のPC起動時に「F12キー」で起動メニュー画面を表示 ・起動メニューからAcronis Snap Deployを起動 ・Acronis Snap Deployから「スタンドアロンユーティリティ」を選択 ・Acronisイメージの配置ウィザードから、SSDに格納されているマスターイメージを選択 ・本体のドライブから、マスターイメージの配置先を選択 ・「マスターイメージの通り」に、本体のドライブからマスターイメージを配置することで、クリーンアップを実施	Win10	Windows Server Active Directory Acronis Snap Deploy IT資産管理	SE	●	●	●	●	●	●	●	●	●
9	2021年4月 ～ 2022年7月	17	10	★クライアント様の端末をセットアップ(IT系企業・全労済) ●製造：PCのセットアップ、クリーンアップ（Windows Server/Active Directory、Acronis Snap Deploy） ◆その他 ・VMware Carbon Black社製アンチウイルスソフト「Carbon Black」をインストール ・レジストリに情報を追加してWindowsの設定やソフトウェアの機能を拡張 ・Windows標準の暗号化機能「BitLocker」でドライブの暗号化を実施 ・MACアドレスを取得 ・IPアドレス、ゲートウェイ、サブネットを確認 ●運用/保守：機材の障害対応 ◆機材の障害対応 ・各種設定の動作確認 ・各種運用ドキュメント整理、作成 ・PCマスタ作成 ・メモリの増設 ・PC不具合対応 ・問題管理や変更管理 ・電話等の各種パソコン業者調整 ・受発注対応支援 ・納品端末のピッキング	Win10	Windows Server Active Directory Acronis Snap Deploy IT資産管理	SE	●	●	●	●	●	●	●	●	●
10	2022年3月 ～ 2022年4月	2	10	★iPadの初期化と設定・キッティング作業 港区エリアの小学校、中学校にて、1人1台配布される。 2チーム5名に別れ、計10名で作業。 ・iPadの初期設定 ・端末の情報の設定 ・アプリケーションのセットアップ	iOS	iPad	SE					●	●	●	●	

11	2021年4月 ～ 2022年8月	17	5	◆書類の作成・整頓 ・議事録作成スキル ・会議書類作成、ファイリング ・調整業務支援 ・契約書作成 ・管理 ・マニュアル作成 ・リスト作成 ◆顧客・仕入先への対応 ・電話、メール応対、及び問い合わせ対応 ・来客対応 ・消耗品・備品の在庫管理 ・顧客先・仕入先管理 ・PG,イラストレーター、ライターの常駐の勤怠管理 ・求人募集の対応 （事務連絡、報告に関する進捗管理）	Win10	Word Excel PowerPoint Spine	SE	●	●	●	●	●				●
12	2021年4月 ～ 2022年2月	10	5	★[Webサイトの作成・更新] 【受託案件、同時で制作を行いました】 ・画像や写真の選出、加工、制作 ◆HTML ・タイトルの設定 ・画像の貼り付け ・文章改行 ・リンクの設定(外部・ページの連携・メール) ・見出し、段落の設定 ・テーブルの設定 ・CSSへのリンクの設定 ・metaの設定 ・箇条書きの設定 ・インラインフレーム・枠のサイズの設定 ・インラインフレーム枠内表示ページの縮小 ◆CSS ・フォントサイズ・カラーの設定 ・背景カラー・画像の設定 ・幅・高さ設定 ・左・右・中央・配置の設定 ・余白の設定 ・枠線の設定 ・箇条書きのブレッドの削除 ・リンクのテキスト設定	Win10	【言語】 CSS HTML Javascript 【グラフィックソフト】 Photoshop CC	PG			●	●	●	●	●	●	●
13	2021年2月 ～ 2022年4月	14	5	★[Webサイトの作成・更新] 【受託案件、同時で制作を行いました】 ◆Bootstrap【受託案件、同時で制作を行いました】 ・Bootstrapを使用して動的なサイトの制作 ・レスポンシブ対応 ・スマホ操作でインラインフレームを使用した、 モーダルウィンドウの拡縮が出来るようレスポンシブタグで設定 ◆アップロード設定 ・レンタルサーバーの設定 ・FFFTPアップロード使用設定 ・表示確認 ◆jQuery-Lightbox/colobox ・スライドショーの制作 ・BOXの設定/設置 ・colobox要素をCSS+HTMLへ追記し、 インラインフレームを使用で、 アプリ操作可能な画面をモーダルウィンドウに表示	Win10	【JavaScriptライブラリ】 jQuery- Lightbox/colobox Bootstrap 【その他ツール】 FFFTP	PG			●	●	●	●	●	●	●

14	2021年2月 ～ 2022年2月	12	5	★企業先管理システムの開発 ◆VBA ・企業名や電話番号、住所、メールアドレスを管理するシステムの使用 ・VBA上でWebページを開き、HTMLからClass名やID名を指定して文字列やURL等のデータを取得 ・マクロの記録　・条件分岐の設置 ・メイン構造の設置　・プロパティの設置 ・メソッドの設置　・コマンドの設定 ・Outlook オブジェクト ライブラリへの参照 ・Option Explicitによる変数の宣言強制 ・Dimで変数の宣言Asでデータ型の定義 ・SETを使用してオブジェクト変数の格納 ・CreateObject("Outlook.Application")を使用してExcelからアウトルックを操作する。 ・CreateItem(olMailItem)を使用してmailitemオブジェクトを作ってメールの作成 ・.Range().Valueでワークシートのセルを指定し、入力値にメール情報を設定する ・Pathを使用したファイルの添付 ・Sendを使用したメールの送信 ・Displayを使用した入力内容の確認テスト ・メモリの無駄遣いや処理速度の低下を避けるメモリ開放 ・連続して大量のデータを送ると処理が重くなってしまうのでDate関数で日付の設定、Variant型で時間の設定を行い、データを送る時間を決める処理 ・データベースのテーブルをExcelマスタで出力させ、マスタから設定を修正しアップデート	Win10	【言語】 VB.Net VBA SQL Excel	PG	●	●	●	●	●	●	●	●	●
14	2021年2月 ～ 2022年2月	12	5	★企業先管理システムの開発 ◆コマンドの設定 ・Outlook Object Libraryへの参照 VBAでツールを開き、参照設定からOutlook Object Libraryを設定。 参照設定が使えない場合、Object型の変数と、CreateObject関数を使用し、プログラムに記述することでOutlookを使用できる。 ・Option Explicitによる変数の宣言強制 ツールのオプションを開き、変数の宣言を強制する設定を行う。 変数が宣言できていない場合はエラーメッセージが表示されるため間違いに気づきやすくなる。 ・変数の宣言 DimとAsを使用し、「Dim 変数名 As データ型名」で変数の定義を行う。 「Dim 変数名」でVariant型にする事も可能。 Variant型にすることでどんなデータにも変数を入れられる。 ・オブジェクト変数の格納 SETステートメントを使用し、オブジェクト型変数にオブジェクトを格納する。 ◆要件定義 商品オプション・サブスクリプション設定、ログ調査依頼、会員登録など基本要件と優先順位作成	Win10	【言語】 VB.Net VBA SQL Excel	PG	●	●	●	●	●	●	●	●	●

14	2021年2月 ～ 2022年2月	12	5	★企業先管理システムの開発 ◆自動配信 ・メールの作成 CreateItemメソッドを使用し、mailitemオブジェクト内にTo、CC、BCC、Subject、Bodyなどを入れ、メールを作成。 「Dim オブジェクト名 As Outlook.MailItem」でmailitemオブジェクトを作成出来る。 ・ファイルの添付 attachmentPathを使用し、ファイルの添付を可能にした。 ・入力の確認 Displayを使用し、入力内容に間違いが無いかの確認を行う。 ・値の入力 Range、Valueを使用し、ワークシートのセルの指定、入力値を設定する。 ・バッチ処理 連続して大量のデータを送ると処理が重くなるため、Date関数で日付の設定、Variant型で時間の設定を行い、データを送る時間を決める。 ★企業先管理システムの開発 ◆VB.Net 「dim as Integer」による変数宣言 「ToString」による数値代入 「i = i + 1」によるインクリメント 「i = i - 1」によるデクリメント 「If 条件 Then Else End If」による条件分岐 「roop」による繰り返し 「’」によるコメントアウト 「”」による文字列の表示 「Console.Write」による文字列出力	Win10	【言語】 VB.Net VBA SQL Excel	PG	●	●	●	●	●	●	●	●	●
14	2021年2月 ～ 2022年2月	12	5	★企業先管理システムの開発 ◆SQL ・案件・技術者情報の配信設定 ・マスターデータ作成 ・Insert INTOで列名と値を設定して一斉送信用のPHPに　データを追加 ・DELETEで登録した技術者、企業先メールアドレスの削除 ・テーブルの作成 「CREATE TABLE」によるテーブルの作成および作成するデータの型やオプションの設定 「DROP TABLE」によるテーブルの削除 ・データの追加 「INSERT」によるデータの追加 ・データの検索 「SELECT」によるデータの検索 「WHERE」によるデータの条件の指定 「BETWEEN」によるデータの範囲検索 「ORDER BY」による検索結果の並べ替え 「UPDATE」によるデータの更新 ・処理を軽くするためのデータの整理 「DELETE」によるデータの削除 「UNION」による複合したデータの結合 ・実行計画を表示、確認 SQL分の先頭に「EXPLAIN PLAN FOR」を付けて実行計画を表示 ツリー構造で表したステップと統計情報を確認 実行計画から、処理時間が遅い等で、SQLが非効率の場合、SQLチューニングを実施 ・サーバー環境構築 ・サーバー環境資源入れ替え	Win10	【言語】 VB.Net VBA SQL Excel	PG	●	●	●	●	●	●	●	●	●
15	2020年1月 ～ 2021年1月	12	1	★仮想環境構築 ■Linux Rufusを使い、 USBメモリをライブUSBメモリに変換し、 物理マシンでのLinux起動 仮想環境の構築 ・仮想化ソフトのインストール（VirtualBox） ・Linuxのインストール(Ubuntu-Japanese,CentOS) ・コマンドの使用 (Passwd・help・ls・dir・sudo) ・LAMPのインストール・バージョン確認	Win10 Linux	【Linux】 Linux (Ubuntu-Japanese,CentOS) Oracle VM VirtualBox	SE	●	●	●	●	●	●	●	●	●

スキルについて

1	HTML,CSS	HTML・CSSの使用経験として、タイトルの設定、画像の貼り付け、文章改行、リンクの設定(外部・ページの連携・メール・CSS)、見出し、段落の設定、テーブルの設定がございます。また、metaの設定や箇条書きの設定、インラインフレーム・枠のサイズの設定、インラインフレーム枠内表示ページの縮小設定の経験がございます。そして、フォントサイズ・カラーの設定、背景カラー・画像の設定、幅・高さ設定、左・右・中央・配置の設定、余白の設定、枠線の設定、箇条書きのブレッドの削除、リンクのテキスト設定の経験がございます。
2	javascript	Javascriptの使用経験として、音楽プレーヤーの制作、画像のランダム表示をボタン操作式に制作、ポップアップメッセージの設定がございます。また、ボタンの設定、テキストボックスの設定、計算プログラムの設定、繰り返しプログラムの設定、桁数表示の設定の経験がございます。
3	Swift(研修)	Swiftの使用経験として、変数宣言、数値代入、条件分岐、繰り返し、無限ループ、コメント、文字列、文字列入力、文字列出力、比較演算、配列、クラスなどがございます。
4	Xcode(研修)	Xcodeの使用経験として、変数の設定、演算子の設定、配列の設定、関数の設定、条件分岐の設定、文字列の操作の設定、エラー処理の設定、コンパイラ警告・文字カウントの設定がございます。また、サブクラスの設定、クラス・プロパティ・初期化、アクションの設定、UIの設置、ランダム関数の設定、RGBの設定の経験がございます。そして、アニメーションアプリの作成、タイマーアプリの作成、画像編集アプリの作成、音声録音アプリの作成の経験がございます。
5	Ruby(研修)	Rubyの使用経験として、変数の設定、演算子の設定、配列の設定、関数の設定、条件分岐の設定、繰り返し文の設定、時刻・日付の処理がございます。また、case文の設定、例外処理の設定、制御構文の設定、連想配列の設定、HTML・javaScript・jQuery・CSS・Bootstrapとの連携の経験がございます。そして、webアプリの作成、リソースの追加、ビューの追加、コントローラーの追加、入力フォームの作成、編集・更新・重複・削除の処理を使用した経験がございます。
6	Ajax(研修)	Ajaxの使用経験として、変数宣言、数値代入、インクリメント、デクリメント、条件分岐、繰り返し、無限ループ、コメントがございます。また、文字列、真偽値、文字列入力、文字列出力、比較演算、配列、関数、文書型宣言、属性を使用した経験がございます。
7	SQL	SQLにつきまして、テーブル・カラムの作成、及びデータの追加(add)、更新(update)、削除(delete)、並び替え(order by)操作の経験がございます。また、UNION ALLで重複しているデータを統合する処理も行いました。 SQL分の先頭に「EXPLAIN PLAN FOR」を付けて実行計画を表示させることも可能でございます。 経験したデータベース言語としては、MySQL、SQL*Plus、PosgreSQLがございます。 Oracle(SQL*Plas)とPostgres SQLでは、管理システム(DBMS)のアーキテクチャと設計方針が異なるため、それぞれの環境で実行できるSQLを作成しました。
8	Linux	CentOSをインストールし、その中にHTTPサーバやMailサーバ、LDAPサーバなどをインストールしたzimbraメール環境を構築した経験がございます。また、Linuxコマンドについては、cdコマンドで目的のフォルダに移動しlsコマンドでファイルの一覧をリスト表示、catコマンドでテキストファイルの内容を表示したりviコマンドでファイルを直接編集した経験がございます。 VirtualBoxとUbuntu-Japanese.CentOSをインストールし、Linuxの仮想環境を構築しました。 物理サーバのリモート管理ファームウェアと、Linuxのisoファイルを使用した、環境構築を行った経験もございます。
9	Python(研修)	Pythonの使用経験として変数宣言、数値代入、インクリメント、デクリメント、条件分岐、繰り返し、無限ループ、コメントがございます。また、文字列、真偽値、文字列入力、文字列出力、比較演算、配列、関数を使用した経験がございます。
10	XML(研修)	XMLの使用経験として、変数宣言、数値代入、インクリメント、デクリメント、条件分岐、繰り返し、無限ループ、コメントがございます。また、文字列、真偽値、文字列入力、文字列出力、比較演算、配列、関数、文書型宣言、属性を使用した経験がございます。
11	VBA	VBAの使用経験として、マクロの記録、住所録を操作するマクロを作成、条件分岐の設置、メイン構造の設置、プロパティの設置、メソッドの設置、コマンドの設定を使用した経験がございます。SQLから抽出されたデータをグラフ化するマクロも作成しました(実績データの分析ツール)。
12	Java(研修)	Javaの使用経験として、コーディングの設定、論理演算子の設定、条件分岐の設定、クラスの継承、、インターフェイスの設定がございます。また、ゲッターメソッドの定義、コンストラクタの定義、To-Doリストアプリの作成、Web APIを使用したアプリ作成をした経験がございます。
13	JSP(研修)	JSPの使用経験として、フォームの連携、サーブレットの設定、入力フォームの設置をした経験がございます。
14	VB.NET(研修)	VB.NETの使用経験として、フォームやボタン、ラベル、テキストボックスを使用したメニュープログラムの作成がございます。また、多次元配列や条件文、ループなどの変数を扱った経験がございます。そして、エラーを考慮した電卓機能の作成やCREATE文を使用したテーブルの作成、データ表示プログラムの作成経験がございます。

15	Cisco IOS	Cisco IOSの経験として、特権モードにする「enable」を活用した、L2スイッチのデータの確認した経験がございます。L2スイッチを返納するために、「write erase」「delete flash:消すファイル名」を活用して、指示された範囲のみデータを消した後、「reload」で再起動することで、L2スイッチを初期化した経験がございます。その際に『COM3 - Tera Term VT』でL2スイッチの状態を確認しながら行いました。 また、IOSイメージを使用して、Cisco製のL2スイッチを、アップグレード・ダウングレードを行いました。
16	Hinemos Client (ジョブ管理やシステム監視のツール)	Hinemos Clientは、遠隔でシステムの確認・監視を行える統合システム運用管理ソフトウェアです。システムの業務を「システムタスク(ジョブ)」で定義・登録を行うことで、システムの管理・監視をリモートで行うことができます。 Hinemos Clientの経験は、「ジョブの実行」「ジョブの監視」「ジョブ履歴の確認」を行いました。「ジョブの監視」「ジョブ履歴の確認」から、実行中のジョブや、過去に実行中したジョブを監視することで、ジョブの状態を確認しました。「ジョブの実行」では、システムの起動や、ジョブの監視や履歴でエラーが出たジョブを、手動で実行しました。 以上から、JP1の様な類似する、ジョブ管理やシステム監視のツールも、Hinemos Clientの経験を活かせて使用することができます。

自己紹介
私は、過去の職務経験を通じて、ネットワークの設計・構築・運用・保守、そしてSQLを使用したデータ抽出・分析に携わってまいりました。具体的な業務内容としては、以下の通りです。 【ネットワークの設計・構築・運用・保守】 私は、Cisco製L2スイッチやDell製サーバを使用したネットワークおよびサーバの設計・構築にも従事してきました。以下、いくつかの主な経験を紹介します。 ●Cisco製L2スイッチを使用して、VLAN設計やルーティング設計を行い、複数拠点間を接続するためのWAN回線の設計・構築も担当しました。ネットワーク機器の設定や運用を行い、障害発生時には迅速に動的ルーティングプロトコルを活用して再経路選定を実施しました。ネットワークの安定運用に貢献した経験があります。 ●Dell製サーバの構築では、iDRAC9を使用して、ネットワークの設定を構成し、遠隔でサーバを操作できるようにしました。iDRAC9を使用して、仮想メディアでAlma LinuxのOS環境を構築し、インストール後はターミナルからnmcliコマンドでネットワーク設定を実施しました。また、hostnamectlやviコマンドを用いて、ホスト名やSSH、SELinuxの設定も行いました。 ●オフライン環境での運用を想定し、Alma Linuxのローカルリポジトリを設定することで、インターネット接続なしで必要なLinuxアプリケーション（例えば、Ansible）のインストールを可能にしました。このように、セキュリティ上の要件を満たしつつ、オフライン環境でも効率的にソフトウェアをインストールできる環境を整備しました。 これらの業務を通じて、ネットワーク機器の設計からサーバ環境の構築・運用まで幅広い知識と経験を積みました。 【SQLを使用したデータ抽出・分析】 私は、SQLを活用したデータ抽出や分析業務にも従事してきました。以下、いくつかの主な経験を紹介します。 ●SQLを使用して、金融データの集計や前処理を行い、WHERE、BETWEEN、ORDER BY、UNION、DELETEなどのSQL文を駆使して、効率的なデータ処理を実現しました。特に、ビッグデータから入出金や取引データの抽出を行い、その結果をグラフ化して、顧客の取引傾向やリスク評価に役立つ分析を提供しました。この分析により、業務の改善や顧客理解の向上に貢献しました。 ●また、Oracle版からPostgreSQL版へのデータ移行時に、データ検証のためのSQLを作成しました。このSQLは、移行元と移行先のデータベース間でデータの整合性を確認するために使用しました。具体的には、指定したオーナー名からテーブル名を抽出し、そのテーブルごとの件数を検索するSQLを作成しました。OracleとPostgreSQLではDBMSのアーキテクチャが異なるため、それぞれに対応したSQLを作成し、各テーブルに格納されているデータ件数を確認し、データ移行が正確に行われたことを迅速に検証できるようにしました。 このように、SQLを使用したデータ抽出や分析に加え、データ移行時の検証用SQL作成にも従事し、データの整合性を確保するための重要な役割を果たしました。 【その他】 また、ヘルプデスク業務にも従事し、クライアント様からのネットワークや端末に関する問い合わせにリモートサポートで対応し、迅速かつ効率的に問題解決を図りました。 これまでの経験を通じて、ネットワークの設計・構築・運用・保守とSQLを使用したデータ抽出・分析の両分野において、実務経験を積んでまいりました。今後もこれらの経験を活かし、さらに成長していきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

自己紹介
職務経歴の項番1で私は、通信事業者向けインフラ環境構築・運用を行いました。 サーバのセットアップに関する業務経験は、次の通りです。(1)Cisco製L2スイッチのアップグレード・ダウングレード。(2)新規サーバを構築するための手順書を作成。(3)作成した手順書から新規サーバを構築。(4)Linuxサーバのデータのバックアップ。以上の4点でございます。 (1)Cisco製L2スイッチをアップグレード・ダウングレードした経験について、説明します。IOSイメージを使用して、Cisco製L2スイッチを、アップグレード・ダウングレードを行いました。 Tera Termで接続したCisco製のサーバに「show version」「show running-config」を入力して、現行の IOS バージョンと設定内容を確認します。 バージョンを変更するL2スイッチであることを確認して問題なければ、「scp」コマンドで設定をバックアップし、外部サーバに保存します。「scp」コマンドでIOSイメージを対象のCiscoに転送し、「dir flash:*.bin」でIOSイメージを確認します。「Install add file flash:」でIOSファイルのインストールを行い、「reload」でCisco製L2スイッチを再起動をすることで、IOSバージョンを変更します。最後に、「show version」でIOSバージョンが更新された後、「write memory」で設定を保存し、「exit」でCisco製L2スイッチからログアウトしました。 バージョンを変更するまえにデータを確認することで、対象のCisco製L2スイッチかどうか判断することで操作ミスを無くしました。IOSイメージを使用することで、Cisco製L2スイッチのダウングレードも可能でございます。 (2)新規サーバを構築するための手順書を作成した経験について、説明します。新規Dell製サーバを使用し、仮想環境のOSとしてAlma Linuxをインストールを行い、Ansibleをセットアップするための、手順書を作成しました。 Dell製サーバに搭載されているiDRAC9の操作方法と仕様を調査します。既存環境はHPE製サーバのiLOを使用しているため、iLOとiDRACの違いを考慮しました。iDRAC9を利用して、仮想環境のOS(Alma Linux)のisoファイルを使用して、構築する手順を調査しました。構築したAlma Linuxで、ホスト名とネットワーク設定を行う方法を調査しました。そして、構築に使用したisoファイルをマウントする方法で、セキュリティの関係上オフライン環境でも、Ansibleをインストールする方法を採用しました。 調査した内容を、「Dell製サーバを構築する方法」として、手順書を作成しました。もし実際の作業で手順書通りに進まなかった場合、実際の操作で進められた箇所を中心に、手順書の修正を行いました。 (3)作成した手順書から新規サーバを構築した経験について、説明します。(2)で作成した手順書から、Dell製サーバを使用した構築を行いました。 Dell製サーバのiDRAC9にネットワークの設定を構成することで、遠隔でもiDRAC9からサーバを操作できる様にします。iDRAC9から仮想メディア(Aima Linuxのisoファイル)を使用して、サーバのOS環境を構築します。その際に、Alma Linuxのインストール画面から、各種の設定を実施し、インストールしたAlma Linuxのターミナルから、ネットワークの設定を実施します。「nmcli」コマンドで、インターフェースに払い出された IP アドレスを設定します。ターミナルから、ホスト名変更、SSH変更、SELinuxの設定を行うために「hostnamectl set-hostname <ホスト名>」でホスト名を変更、「vi」コマンドで、sshとSELinuxの設定をそれぞれ行います。オフライン環境で、Alma Linuxのターミナルから、Ansibleのインストールも行いました。Alma Linux のインストールに使用したisoファイルを、サーバのローカルに保存することで、元のisoファイルをアンマウントしても、オフラインのローカル環境で、必要なパッケージをインストールすることが可能になります。保存したファイルを「vi」コマンドで、ローカルリポジトリの設定をします。その後、「dnf clean all」でリポジトリキャッシュを更新、「dnf repolist」でリポジトリの確認をすることで、リポジトリキャッシュが残っていることで生じるエラーを防ぎます。最後に「dnf install ansible*」でパッケージ(Ansible)を、インストールします。 サーバの構築だけでなく、セキュリティの関係上、オフラインにするしかない環境でも、必要なLinuxのアプリケーションをisoのローカルリポジトリから、インストール出来るようにしました。 (4)Linuxサーバのデータのバックアップを行った経験について、説明します。HPE製サーバのiLOで構築されたLinux環境から、Linuxコマンドでデータのバックアップを行いました。使用したコマンドは、以下の通りです。 【Linux】 for d in /IPS_* ; do echo "---- `date` ----" ; find $S >> $ARC_LIST ; done このコマンドは、「/temp」のファイルに、バックアップ一覧のリストとして、装置情報を作製するものです。 追記モード「>>」で、過去のバックアップ情報を保持したまま、新しいデータをファイルに追加します。「date」コマンドで、バックアップを行った日時を出力します。「for」コマンドからループ処理で、自動的にバックアップを取得します。 上記のように、Linuxコマンドの工夫を行うことで、バックアップ情報を1つずつ手作業で行う手間やミスを無くし、バックアップ作業の効率を上げました。

自己紹介

職務経歴3で私は、仮想デスクトップ『BizXaaS®Office』(略称BXO)を用いて、出社だけでなくテレワークで環境問わず、業務を行っておりました。

ソフトウェアを使用したインフラサービスや、コードの作成を含む業務経験は、次の通りです。(1)実績データの分析ツールの開発。
(2)ObjectBrowser(OB)でOracle版からPostgresSQL版へのデータ移行時に、データ検証に使用するためのSQLを作成。(3)Windows ServerAD(アクティブディレクトリ)を使用したクライアント端末の運用保守。(4)BAMのシステムに含まれるDBの調査や分析。以上の4点でございます。

(1)実績データの分析ツールの開発ついて、説明します。Excelのマクロ有効ブックの操作のみで、銀行様のデータベースにSQLを実行し、そのSQLの実行結果を取得したデータをVBAでグラフ化するツールの開発です。
SQLで出力されたデータを、調べたい内容に合わせて適切にグラフ化を行えるよう、「Valueプロパティ」や「.Shapes.AddChart.Chart」等を活用してVbaを複数作成しました。またグラフ化には、実際の操作では、「Call」を活用して作成したマクロを図形に登録することでボタンを作成し、そのボタン1つで切り替えるようにしたため、ツール使用時の人為ミスを減らすように工夫しました。

(2)ObjectBrowser(OB)でOracle版からPostgresSQL版へのデータ移行時に、データ検証に使用するためのSQLを作成について、説明します。
データ検証はデータ移行時に実施するテストですが、私はデータ検証に使用する為のSQLを作成しました。そのSQLは、指定したオーナー名からテーブル名を抽出し、そこから各テーブルの件数を検索する為のSQLを実行結果で出すものです。
OracleとPostgres SQLでは、管理システム(DBMS)のアーキテクチャと設計方針が異なるため、それぞれの環境で実行できるSQLを作成しました。
それぞれのSQLは、以下の通りです。
【Oracle】

```
SELECT *FROM (
SELECT 'SELECT ''||table_name||'=''||COUNT(*) FROM '||table_name||';' AS sql_statement
FROM dba_tables WHERE owner = 'オーナー名')
ORDER BY sql_statement;
```

【Postgres SQL】

```
SELECT *FROM (
SELECT 'SELECT ''||UPPER(table_name)||'=''||COUNT(*) FROM '||table_name||';' AS sql_statement
FROM information_schema.tables WHERE table_schima = 'オーナー名') AS subquery
ORDER BY sql_statement;
```

そして、それぞれのSQLの実行結果は、以下の通りになります。
【実行結果(どちらも同じになる様に工夫しました)】

```
SELECT 'テーブル名='||COUNT(*) FROM テーブル名;
```

このSQLを実行すると、指定したテーブルにあるデータの件数を確認することが出来るため、データが現行システムのデータベースから、移行先システムのデータベースへ正常に移行されたことを、判断しやすくなります。

(3)Windows ServerAD(アクティブディレクトリ)を使用したクライアント端末の運用保守について説明します。銀行様のクライアント端末にあるアカウントに、ロックがされて使用することが出来なくなったとき、遠隔で銀行様のクライアント端末に接続するための申請書を送付してから、Windows ServerのADを使用してユーザーの情報に接続し、そこからパスワードの情報を設定し直すことで、アカウントのロック解除や、パスワードの初期化を行いました。

(4)BAMのシステムに含まれるDBの調査や分析について、説明します。Banking Analyze Master (BAM)には、Oracleのシステムが含まれているため、DB(データベース)の調査や分析を行いました。
Windowsのコマンドプロンプトから「sqlplus {ユーザーID}/{パスワード}」でSQL*Plusに接続します。その後、DBの容量を調べるために「SELECT」等を用いたSQLが複数あるため、一括まとめのsqlスクリプトを使用して、DBの容量が逼迫していないか調査を行いました。
また、TeraTermでサーバーにアクセスし、「df -h」等のdfコマンドを使用して、ディスクの空き容量を確認しました。
Oracle版のObjectBrowser(OB)も使用して、調査対象のデータベースにアクセスし、「ORDER BY」を用いて結果レコードの順序を指定しつつ、出力した結果をEXCELファイルに出力することで、お客様(銀行様)に提出するための資料を作成しました。

自己紹介
職務経歴3で私は、仮想デスクトップ『BizXaaS®Office』(略称BXO)を用いて、出社だけでなくテレワークで環境問わず、業務を行っておりました。 文面を中心にした業務経験は、次の通りです。(1)銀行様の環境内で行う作業の「申請書」の作成と送付。(2)先月分の「借用ユーザIDの一覧」「障害一覧」の作成と送付。(3)定例業務の「スケジュール管理」と「進捗報告」。(4)「作業者」または「再鑑者」として銀行様の環境内で行う業務の実施。(5)ソフトウェアの画面結合試験とその証跡をまとめた資料の作成。以上の5点でございます。 (1)銀行様の環境内で行う作業の「申請書」の作成と送付について、ご説明します。銀行様が使用するユーザIDを借用して、その銀行様の環境内の作業を行うために、申請書の作成と送付を行います。申請書には、会社にあるリモート室のリモート端末から遠隔で作業を行う「リモート接続」と、新横浜にある事務センターに入館して業務を行う「事務センター作業」の申請書を、申請する作業内容に合わせて作成します。作業を行う担当者から、借用したいユーザや正式な業務内容を確認し、それを素に申請書を作成します。 (2)先月分の「借用ユーザIDの一覧」「障害一覧」の作成と送付について、説明します。「借用ユーザIDの一覧」では、銀行様に送付した申請書に記載された作業内容で、実際に使用したユーザIDを表にまとめた資料を作成して、送付します。「障害一覧」では、先月中に障害が発生した場合、障害一覧に「発生日」「障害の内容」「原因・対応」などに情報をまとめた上で情報を追加して更新を行い、送付します。 (3)定例業務の「スケジュール管理」と「進捗報告」について、説明します。毎月・四半期など、期間ごとに行う定例業務のスケジュールを作成します。業務ごとに担当者を振り分けつつ、過去のスケジュールを参考に期限を設けます。業務の担当者に進捗を確認しつつ、遅延が発生している場合は理由も聞き出します。そして、作成したスケジュールと担当者の進捗を朝会などで報告します。 (4)「作業者」または「再鑑者」として銀行様の環境内で行う業務の実施について、説明します。銀行様へ送付する申請書に記載した作業内容によっては、「作業者」または「再鑑者」として直接作業に携わることもあります。作業は最低でも「作業者」1人と「再鑑者」1人の二人一組で行われます。「作業者」は、作業手順書や指示書を基に、端末やソフトウェアの操作を行います。「再鑑者」は、作業者の作業に誤りが無いかを確認しつつ、銀行様から借用したユーザーIDを実際にしようしたか記録していきます。 (5)ソフトウェアの画面結合試験とその証跡をまとめた資料の作成について、説明します。ソフトウェアでの結合試験は、試験対象のソフトウェアと、比較対象の元となるソフトウェアを同時に操作していき、「試験対象と比較対象で操作や性能に差異が無いことを確認」するものです。実際に操作しているソフトウェアの画面を画面結合試験の証跡として、画面のスクリーンショットを撮り、それをexcelにまとめることで、画面結合試験のマトリクスを作成します。資料の作成では、ただスクリーンショットを貼り付けるだけでなく、四角形と矢印の図形も挿入し、「どのように操作したのか」「操作した後にどこが変化したのか」を表すことで、初めて資料を見た人でもどのように操作したのか理解できるようにしています。

自己紹介
職務経歴3以降でも、次の業務経験がございます。(1)「試験項目表」「試験消化表」「プロット表」の作成。(2)総合試験として「疎通試験」「IFAP試験」「運用試験」「性能試験」の実施。(3)クライアント端末の納品。(4)Ciscoの設定業務。(5)社内のパソコンの管理と、そちらに使用する管理表の作成。(6)メールアカウントの設定を使用した、迷惑メール、詐欺メールの対応。(7)Linuxの仮想環境を構築。以上の7点でございます。 (1)「試験項目表」「試験消化表」「プロット表」の作成について、ご説明します。「試験項目表」は、予め作成された仕様書(ジョブ実行管理スケジュールなど)を参考にしながら、Excelで「試験項目表」を作成しました。実行する機能名やコードが、仕様書との差異が無いように、元のデータをまとめたシートを用いたEXACT関数なども使用して、機能名やコードが一致しているかどうか、確認しました。「試験消化表」「プロット表」は、完成した「試験項目表」を基にして作成しました。 (2)総合試験として「疎通試験」「IFAP試験」「運用試験」「性能試験」の実施について、説明します。「疎通試験」と「IFAP試験」では、ソフトウェアが異なる環境でも同じ処理が行われていることを、比較するものです。ソフトウェア内で行われているジョブで処理された結果を、『WinMerge』で比較を行い、一致すれば「異なる環境でも同じ処理が行われている」として、その結果を証跡としてまとめます。「運用試験」では、ソフトウェアの仕様書で決められていたジョブが、指定された時間通り、正常に実行されているかを確認します。実行された結果を証跡にまとめます。「性能試験」では、異なる環境でも、ソフトウェアの処理が行われている時間に、大差が出ないか確認します。処理の時間の『Excel』で算出しつつ、証跡としてまとめます。総合試験は、異なる環境でもソフトウェアの挙動に差異や支障が無いか、確認するためのものでございます。 (3)クライアント端末の納品について、説明をします。 クライアント端末の納品をするべく、現場となるクライアント様の職場へ県内外問わず向かい、端末のセットアップをして納品しました。その時に行った作業の流れは、以下の通りです。まずクライアント端末を、現場の環境へ「端末の設置」を行います。次にクライアント端末のセットアップとして「ネットワーク設定の確認」「ドメイン参加」「ポリシー設定(ドメインポリシーの確認)」「提供するソフトウェアの動作確認(試験項目表を基にした試験)」を行います。最後に、クライアント端末のセットアップで撮った作業証跡をまとめ、「作業証跡の資料」として納品しつつ、クライアント様へ報告します。 (4)CiscoのL2スイッチを100台程返納する為に、『Cisco IOS』で初期化をした経験があります。『COM3 - Tera Term VT』でL2スイッチの状態を確認しながら、Ciscoコマンドを入力していきました。「enable」で特権モードにして、「show running-config」「show flash:」「show startup-config」「show vlan」でL2スイッチのデータを確認することで、本当に初期化をしても良いL2スイッチなのか、確認をしました。指示された範囲のみ消去するように「write erase」「delete flash:消すファイル名」でデータを消去した後、「reload」で再起動することで、L2スイッチを初期化しました。初期化する前のデータと、初期化したデータを比較して、本当に初期化されているか確認した後、「exit」で強制終了せずにL2スイッチを閉じました。 (5)パソコン管理について、1つ事例を申し上げます。会社にあるノートパソコンを、管理表にまとめた上で、指定された場所へ保管しています。パソコンの管理に使用する管理表の見出しには、「パソコンのメーカー名」「型番」「パソコンに登録しているメールアドレス」「使用者」「インストールされているソフトウェア」「パソコンの状態」など、記述します。「パソコンの状態」では、パソコンが故障しているかどうかを、記録します。例えばパソコンの場合、電源が入らないことがあります。私はこのとき、修理する方法を調べて実行し、それでも電源がつかない場合、「故障」と記録します。電源が入らないパソコンを修理する方法として、「充電に使うACアダプターを、他のものに変えて充電をする」「バッテリーを放電させてから、2～3時間充電をする」「古いバッテリーを、新しいバッテリーに交換してから充電をする」等の対応をしていきました。それでも動かない場合は、ねじ回しでパソコンのカバーを外し、「メモリーが入っているか」「埃でショートしているか」等の確認を行いました。 (6)メールアカウントの設定の経験について、ご説明します。サーバーに送られる、詐欺メールやウイルス入りのメールに、使用されるドメインを元に、サーバーのコントロールパネルを用いて、受信拒否の設定を行いました。ドメイン名が会社名が日本のものでありながら、詐欺メールの場合、アドレスが中国のものであることを表す「cn」で終わることや、実在するドメイン名によるアドレスとは全く異なるアドレスであることが分かります。詐欺メールに使用されているアドレスを、サーバーのコントロールパネルから「受信拒否を行う文字列」として登録することで、同じ詐欺メールが受信されることを、防ぎました。ただし、「@gmail.com」「@outlook.jp」「@yahoo.co.jp」などのフリーメールに使用されるドメインは、求職者のメールアカウントに使用されているため、受信しないドメインに登録しないように、気を付けております。 (7)Linuxの仮想環境を構築について、説明します。仮想環境そのものを構築するVirtualBoxと、Linuxのインストールファイル(Ubuntu-Japanese.CentOS)を使用します。VirtualBoxでの操作は、『仮想マシンの作成』から「タイプ:Linux」「バージョン:Ubuntu(64-bit)」を選択し、構築したい仮想環境の性能に合わせて『メモリーサイズ』『ハードディスク』等の設定を進めます。Linux系OS(Ubuntu)での操作は、『Display Settings』でディスプレイの設定をしてから『インストーラ』を起動して、インストール用の設定(ローケル・ユーザー名等)を進めます。OSのインストールが完了したら、『Display Settings』でディスプレイの設定し直しつつ、『コマンドプロンプト』から「sudo apt update」でパッケージの最新化を行います。 このように、システムの構築・運用・保守だけでなく、事務管理やサポートデスクの経験もございますので、お役に立てれれば幸いです。